

# 森山通信 VOL.13

平成26年 第3回定例会 議会質問から



## 1. 防犯街灯のLED化について

**Q** 防犯街灯LED化に向けた市の考え方は？

**A** 防犯街灯としての適切な明るさを確保した上で、設置費や電気料金などのコストをできる限り抑えることにより、町内自治会等と市、双方の負担軽減を図ることが重要と考えております。LED灯の性能の向上により、消費電力の小さなものでも、十分な明るさを確保することが可能となってきており、現在、多くの自治体が一括リース方式によるLED化を進め、経費縮減の成果を出していることから、本市におきましても、それらの取組みを参考に、第2次実施計画に位置付けることも含め、計画的に実施して参りたいと考えております。なお、実施にあたっては、町内自治会、電力会社、及び施工業者などと十分に協議を重ね、円滑に進めて参ります。



### 要望

東日本大震災以降の電気料金の値上げ、水銀に関する水俣条約採択により、近い将来に水銀ランプの交換ができなくなる見込みがあることなどから、市内の防犯街灯が計画的に全灯LED化に至るよう求めます。

## 2. 生活困窮者支援について

**Q** 相談窓口の見直しについては？



**A** 窓口での相談だけでなく、相談者に積極的に訪問を行い、支援を継続するなどアウトリーチ活動を強化していきたいと考えております。また、生活困窮からの脱却と並んで「貧困の連鎖」の防止は、大変重要であると認識しており、生活困窮世帯や生活保護世帯に育った子供が将来、低学歴や低学力により、再度の貧困に陥ることを防止するため、本市としては、特に、学習支援に力を入れて参ります。

今後も、多様で複合的な課題を抱える生活困窮者に対しては、「生活自立・仕事相談センター」だけでなく、各区の保健福祉センターはもとより、リンクなど青少年の相談窓口、さらには労働局などの外部の期間とも、これまで以上に連携して生活困窮者の自立を支援してまいりたいと考えております。

語訳：アウトリーチとは…援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出をしない人々に対して、公共機関などが積極的に働きかけて支援の実現をめざすこと。

千葉市生活自立・仕事相談センター(中央・稲毛)



千葉市自立・就労サポートセンター(中央・花見川・若葉)



### 3. 公共施設の管理及び再配置について



**Q** 公共施設見直し方針で、対象をハコモノだけにした理由は？

**A** 公共施設見直し方針は、市が保有する土地及び建築物を対象として、平成24年1月に策定した「千葉市資産経営基本方針」基本的考え方である「資産の効率的な利用」と「資産の総量縮減」に基づき、施設利用の効率性向上や再配置、施設総量の縮減を着実に推進するため、集約化や複合化などによる見直し可能な、「建物を有する主要な公共施設」を対象としたものであります。

**Q** アクションプランの検討状況と市民・利用者の理解や納得をどのように得ていくのか？

**A** アクションプランで考える圏域として、千葉都心などの3都心のほか、生活拠点である主要な鉄道駅や中学校区を想定しております。今後、庁内ワーキンググループを設置し、計画期間内に建替等の時期を迎える施設を抽出し、集約化や複合化等による再配置の方向性について検討してまいります。

また、市民・利用者の理解や納得をえることは重要と考えており、具体的な施設の再配置を進める上での市民・利用者のコンセンサスを得る手法について検討してまいります。



#### 要望

市民の身近な公共施設の問題でありますので、広く市民の皆様に見直しが始まっていることを、周知に努めることを要望します。

### 4. 小中一貫教育の取り組みについて



**Q** 小中一貫教育として取り組みを進めるべきと考えます。見解は？

**A** 本年度は、独自に作成した「小中一貫教育標準カリキュラム」を活用し、緑ヶ丘中学校と宮野木小学校において、研究に取り組んでおります。千葉市学校適正配置実施方針で、小中一貫教育等の制度の導入などにより適正配置を検討することとしています。

#### 要望

全国3万の国公立学校で、小中一貫教育を実践しているのは1130件、その87%が「成果が認められる」と評価しています。千葉市も積極的に取組まれることを要望いたします。

これからも皆様の声をカタチにすべく、全力で頑張っております！

市政に関するご意見・ご要望をおきかせください。

【QRコード=ホームページ】  
<http://moriyama-kazuhiro.com/>



# 森山かずひろ

TEL : 043-245-5483  
FAX : 043-245-5584